

## イギリスの地域劇場の現状と 社会包摂プログラムの展開について ～社会機関としての劇場～

仙南芸術文化センター(えずこホール) 水戸雅彦



リーズ:ウェスト・ヨークシャー・プレイハウス

**2014.6.1～9**

訪問地:グラスゴー・シチズンシアター、リバプール:エヴリマン&プレイハウス、  
リーズ:ウェスト・ヨークシャー・プレイハウス、シェフィールド・シアター

### 6月2日(月)グラスゴー・シチズンシアター



1876

エントラン

その広さ

その模型。

開館当初の舞台機構も残っている マーティン(市民事業)、アリソン(広報)の説明を受ける。

劇場の目的は、良質の作品を安価なチケットで提供すること。

年間の観客数は7万人、普及事業参加者は2万5千人。1990年EUの欧州文化都市に選ばれる

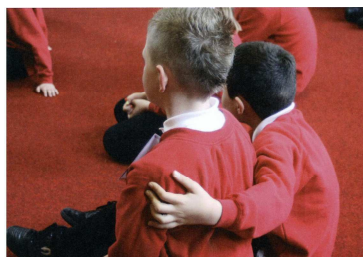
学生や失業者は50ペンス(約90円)で提供。一時無料で提供していたが、クリエイティブスコットランド(旧スコティッシュカウンシル、毎年150万ポンド(約2億7千万円)の支援を受けている)から指摘を受けて廃止。それでも現在、100枚限定で50ペンスのチケットを販売している。

## グラスゴー・シチズンシアターのコミュニティプログラム



**プリズンプロジェクト**: 通年で3ピリオド開催している刑務所の受刑者向け事業。多くの受刑者が読み書きがあまりできない等の理由で出たり入ったりしている状況があることから、それらを改善しながら演劇作品作りに取り組むことにより受刑者の自信回復を図る。観客は、受刑者及び家族、友人などの関係者。一人の囚人に年間5万ポンド予算がかかっているから、二人の囚人が社会復帰すればそれで予算はペイする。

**小学校のドラマ事業**: イギリスでは、カソリックとプロテスタントの対立が大きな社会問題となっている。そこで、対立している44校(カソリック、プロテスタント約半々)を対象に混合でキャストイングリッシュ演劇作品を作り、学校の体育館で上演した。そして、それをこどもたち、保護者に見せた。



## グラスゴー・シチズンシアターのコミュニティプログラム

**ドラマワークショップ**: 週末子ども向け(18コースクラスある)、夜大人向けのクラス(4つの段階に分け初心者から経験者まで対応)。



**ビジネス・トレーニング**: 企業向けワークショップ。コミュニケーション、組織づくり、対人関係スキル、対立マネージメントを改善、構築する内容。

**ユースシアター**: 役者、演出、脚本、スタッフそれぞれに対応。

**ディスカヴァー**: 観客向け普及事業、プレワークショップ、アフタートークほか。



## 6月3日(火)リバプール:エヴリマン&プレイハウス



客席上部、作業用キャットワークが充実 Tow great theatre one creative heart.

今年50周年を迎え大幅に改修した劇場。エヴリマンというのは、すべての人のための劇場という意味つまり「みんなの劇場」。2008年に欧州文化都市に選ばれた。

マニフェストは、恐れずに作品をかける。リバプールのアイデンティティを守る。ポジティブに志向する等々。

## エヴリマン&プレイハウスのコミュニティプログラム



ナショナルヘルスサービスが作成した貧困度の分布を表す地図。その中で最も貧困度の高い地区に向けてさまざまなコミュニティプログラムを実施している。プログラムの実施に当たっては、警察、保健局、住宅局、ソーシャルサービスなどと連携してやっている。事業予算もそれらの行政機関から出ていることも多い。

**犯罪者(反社会的人間)へのプログラム:**  
親の教育の問題と、子どもたちがやることのないことが問題。2歳の子どもがアルコールを飲み、火遊びをしていた。その家族全員をアートプロジェクトに参加してもらい大きな作品を作り家の前に展示、それを近隣の人たちが見て、その家族を認めることができるようになったことで、地域の人たちとの関係性、さらには地域の環境そのものが改善した。Working with ~ neighborhood



## エヴリマン&プレイハウスのコミュニティプログラム



**クリサリス(さなぎ)**: 荒れ果てた地域を市民とともに再生する事業。住民グループの中にある争いや断絶が地域荒廃の背景にある。地域、学校若者団体が協力、リバプール・ランタンカンパニーとともにアートプロジェクトを提供。24の学校の協力を得て、8か月をかけたさなぎのランタンを作り廃線になった線路でパレードを行った。さなぎのランタンは最後に蝶になる(荒れ果てた町が再生する)という演出になっていた。

**young man with delight** (罪に走りがちな少年向けプロジェクト): 照明のないフットボール場、麻薬、犯罪を犯しやすい環境。「照明があればサッカーができる」と子ども答えたため、近隣の人たちに声をかけ、みんなが照明器具を持ち寄りその明かりで少年のフットボールのビデオを撮った。それを見たリバプールのフットボールチームから、才能があるということで指導が受けられるようになった。



I've learnt in the past 2 months than I have 3 years at college.

## エヴリマン&プレイハウスのコミュニティプログラム



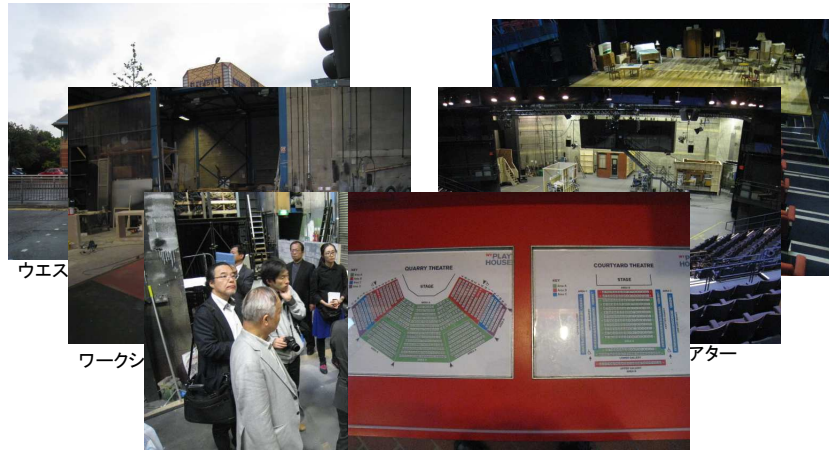
**young man with delight (続き)**  
それが発展し、リバプールのいろいろなところに照明を灯して明るい街を作るプロジェクトを展開した。それに参加した若者たちが、それらの仕事の中でリバプール市から賞金をもらえるようになり、照明家のプロになった。

**Creative construction(創造的大工仕事)**: 罪を犯した青少年を対象に、劇場で美術などの共同作業を行う。空き店舗を利用して、クリスマスショップを若者たちと展開したプログラムから始まった。各種グッズを作り、たくさんの子供たちが集まりプレゼントをもらって喜んだ。それを見た少年たちが優しい気持ちになり、また作品を作りたいといったことから展開。多くの少年がなんらかの社会復帰を果たした。





### 6月4～5日(水・木)ウェスト・ヨークシャー・プレイハウス



丁寧に詳細な説明を受ける。 劇場客席配置図

「北部イングランドの国立劇場」とか「コミュニティ・ドライブ」と異称されるウエストヨークシャー・プレイハウス。コミュニティ・プログラムを運営の大きな柱としてミッションにも謳っている。英国随一の規模のワークショップ(大道具作業棟)、広いワードローブ(衣装製作部屋)も驚くべき広さ。ミッションは、「地域と繋がるということ」。そして、「全国的に評価の高い作品を制作すること」。

### ウェスト・ヨークシャー・プレイハウスコミュニティプログラム ヘイデイズ(HAYDAYS)

55歳以上誰でも参加できる。1回の参加費1ポンド50ペンス、会員制で300～350人参加。



ドラマのクラス

6月4日 18のコースが並行で開催されていた。

## ウェスト・ヨークシャー・プレイハウスコミュニティプログラム ファーストフロア(FIRST FLOOR)



劇場の近

ファーストフロアの壁に貼ってあった参加者の作品



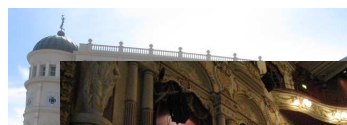
芸術開発部



ファーストフロアのグリーンルーム

ニート、受刑中・執行猶予中、刑期後出所者など、社会とのかかわりが困難となっている人が対象。音楽、演劇、美術ほかのメニューがある。ユース・ワーカー(問題を抱えた若者の社会復帰支援員)、ユース・オフエンダー・サービス(青少年犯罪やサービス)と連携して事業を実施。

## 6月6日(金)シェフィールド・シアター



ライン

オーデト

ボック



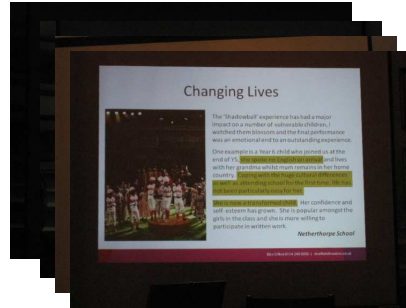
スタジオ劇場。

この部屋で説明を受けた。宮殿みたいです。

ミッション:「私たちは、ライブアートが、人々の生き方を根底から変えていくと信じています。私たちが提供する、上質で多様で、市民生活を拡張していくプログラムで、シェフィールド、更には遠方に住む人々も含め、笑いと涙と深い思索を喚起し引き出します。」

## シェフィールド・シアターのコミュニティプログラム

**SHEFFIELD PEOPLE'S THEATRE(市民劇団): 12~80歳、94人が出演**



**シェフィールド・ピープルズ・シアターのミッション**  
 シェフィールド・ピープルズ・シアターは、世代を超えたカンパニーです。その目的は、エキサイティングで、挑戦的で、大胆で芸術性の高い作品を制作し、シェフィールド・シアターで上演すること。地域内で、12歳以上の情熱を持った人たちと魅力的な演劇を制作します。  
 シェフィールド・シアターはこの地域すべてを愛し、真にシェフィールドの物語を紡ぎ、シェフィールドの市民に見ていただくよう招待します。

### ・その他のコミュニティプログラム

**シアターバンガード:**シアター・イン・エデュケーション。何週間かかけて学校で演劇作品を作り劇場にかける。学校の先生に指導方法を教え、その先生が生徒を指導する。舞台プランはプロが担当、それ以外はすべて生徒が担当する。

**Live for 5:**16~26歳までの若者は5ポンド(約900円)でチケットが買える。

**ワークエクスペリエンス:**劇場がどのように演劇作品を制作するのか体験する1週間のコース。